

中西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第10号 令和4年9月27日



福祉実践教室

9月21日（水）、社会福祉協議会の方や障害のある方を講師にお迎えし、3年生以上が福祉実践教室に参加しました。感想を紹介します。

3年 視覚障害者ガイドヘルプ



- ・どこに人がいて、物があるのか、自分が今どこにいるのか分からず、怖かった。
- ・目が見えない人と歩くのは、気を付けてやらないといけないから心配した。

・障害者になってしまった人は、ガイドさんに助けてもらうだけじゃなくて、やれることは、自分でやりたいということが分かった。

4年 車椅子体験



- ・車椅子に乗ったとき、小さな段差がすごく大きな段差に感じた。
- ・おじいちゃんが車椅子に乗るようになったら、私が介助してあげたい。

・ヨッシーさんから、最初はどん底に落ちたけれど、スポーツや信頼できる仲間をつくり、車椅子人生もすてたもんじゃないという話を聞いて、人生を楽しんでいるんだと思った。

5年 手話



- ・自分の名前や好き嫌い、勉強、食べ物などの手話の仕方が分かった。
- ・手話や筆記、指文字、身振り、空書きなどで会話することが分かった。

・表情で感じ取ったり、口の動きでコミュニケーションしたりしていることも分かった。
・講師の先生と、1対1で手話や指文字でお話したことが一番心に残った。

6年 点字



- ・白杖を上にあげたら、「助けて」「困ってます」の合図だと知って、もし見かけたら助けたと思った。
- ・急に声をかけるとびっくりさせてしまうので、

「お手伝いしましょうか」だけでなく、自分の名前や学年を言って話を進めるとよいと思った。

・点字をもっと知ってみたい。

秋の全国交通安全運動期間 9月30日まで

「秋の夕べはつるべ落とし」と言われます。つるべとは、井戸で水を汲み上げるために使われる道具のことで、桶を縄の先にとりつけたものを滑車に掛けて使用します。このつるべが、井戸の中に素早く落ちる様子を秋の日暮れの早さに例えた言葉です。その言葉をまさに実感する季節になりました。

夕暮れ時は運転者から歩行者や自転車の動きが見えづらくなり、交通事故が増えます。そのため毎年、この時期に秋の交通安全運動期間が設けられます。今回の重点目標は、下記のとおりです。

- ・子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- ・夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶
- ・自転車の交通ルール遵守の徹底
- ・二輪車の交通事故防止
- ・電動キックボード等の交通ルール遵守の徹底

交通安全に気を付け、大切な命を守りましょう。

